

2020 年度第 8 回理事会 議事録

開催日時:令和 2 年 12 月 15 日(火) 16:00~16:55

開催場所:Webex によるオンライン会議

出席者:(理事)石井潔(理事長)、森永春二(議長)、久保田光二、稲葉豊穂
漆畑晃司、岸本道明、小林裕敏、白崎利哉、山本和正、渡邊治彦
(監事)吉兼正哲

オブザーバー:新庄大輔(静岡市 ICT 推進課副主幹)

事務局:桜井俊秀(以上、会議出席者 13 名)

委任状:北川幹根、齊藤弘幸、村松克己

欠席:(監事)上田和博、小谷勇 (相談役)鈴木佐太郎

(以上、敬称略)

1. 開会

森永副理事長が議長に就任し、石井理事長の挨拶の後に議事に入った。

2. 議 事

(1) 報告事項

① 事業経過報告

資料①により事務局から①~③について概要報告があり、次いで今回追加された事業案の④項の2件について詳細説明があった。その後、④項(2)の会員交流サイトの活用案について意見交換を行った。

・「会員交流サイト」の一次計画は本年度事業計画の範疇に入るので、予算の30万円以内で構築することで部会内で作業を進めているが、二次計画(動画コンテンツの追加等の案)については、本年度予算の余剰予定を一部使って追加構築するか次年度に向けるかは今後の議論により決めて行きたい。

・良いことだと思うが、動画によるプレゼンの必要性や「交流サイトで何をアピールしたいか、共有したいか」等を明確にすることが先決ではないか。

・会員同士のビジネス・マッチングを活性化するために企画された当事業ではあるが、大事なことは目的や情報発信のターゲットを明らかにすることが求められるので、引き続き部会から具体案を提示いただき、理事会で論議していくことが必要と思われる。

・予算ありきで進めるものではなく、今年度「各社でどのように情報交流・共有を図るか」を部会で検討いただき、必要があれば次年度に繋げていただきたい。

・サイトをどのようにするかということよりも、目的やターゲットを明確にすることが重要だと思う。作っても観てもらえないサイトでは意味がないので、自治体や会議所など他サイトとの情報連携などの活用案を出して頂きたい。

・今後、ビジネス・マッチング部会で「たたき台」を作成いただき、理事会で議論するというキャッチボールを繰り返して行きたい。

・余剰予算の使用方法(次年度への繰り越しが可能か市にも確認してみる)

も念頭に置きながら、今後部会メンバーにも理事会に同席いただき、一緒になって論議したらよい結果が出るのではないかと。

(2) 協議事項

① 次年度事業計画案に対する意見

資料②により事務局から説明の後、前回も同様の内容説明を済ませていたので、この間にお気づきの点を含め意見を求めた。

その結果、特段の意見はなかったが、議長より「ユーザー企業と向き合った事業を膨らめることに協会の存在意義を高めることに繋がるので、「Kintone Café」のような小規模事業者向けアプリ開発のような独自の事業を続けて頂けるのが良いのではないかと」との意見が付された。

② 次年度理事および部会員の推薦に関する意見・提案

資料③により事務局から説明があり、その後理事の更新(退任ならびに新規登用)について議論した。

・石井理事長は静岡大学長を退任されるため理事長職も退任される。また、岸本理事も、静岡大学の「COCプラス」の終了に伴い退任されることになる。

・継続して、静岡大学からは、石井学長から日詰次期学長に理事の引継ぎをお願いしていただく。岸本理事の後任の方の選任の件は、改めて検討する。

・静岡情報処理センターの鈴木社長には、森永副理事長から就任を依頼する予定とのこと。

・このほか、部会活動にも熱心に参加されている企業からも理事登用を広めたい。

・但し、「部会に人を出す企業は理事も出す」ことが条件づけられるように取られるのも問題があるので、「部会活動を通じて協会事業に積極的に参加される企業に声をかけて行く」という形が望ましいとの声があった。

・今後、引き続きリモートでの会合・イベントが続くことが想定される中、当会をいかに活性化させていくかという点を協議していきたいとの議長の言葉でまとめとした。

3. 連絡事項閉会

次回理事会:1月26日(火) 16:00~17:00

*各正副部会長を含む拡大理事会とし、今後の状況を見ながら、静岡商工会議所401号室 または 遠隔会議で開催致します。

4. 閉会

(SIIA 第8回理事会録画 20201215)

<https://siia.webex.com/siia/ldr.php?RCID=14af0b9ad3080d8904e571f2d8f3d0e7>